

平成27年度第1回役員会 議事要旨

日時 平成27年4月27日（月） 13時10分～14時25分
場所 学長室
出席者 和田学長，大矢理事，鈴木理事，海老名理事
欠席者 なし
陪席者 近藤副学長，関事務局長，石橋監事，末永監事

議事に先立ち，議案「大学教育再生加速プログラム（AP）について」及び協議事項「小樽商科大学第3期中期目標・中期計画（素案）について」を報告事項に変更し，報告事項「佐野力海外留学奨励金の創設について」を追加する旨発言があった。

続いて，事前に配付している前回（4月3日）の臨時役員会の議事要旨の確認が行われた。

議 案

1. 経営協議会委員の選出について

和田学長から，審議資料1に基づき，経営協議会委員の選出について諮られ，審議の結果，原案どおり議決された。

議決後，和田学長から，平成27年4月1日付けで任命する旨発言があった。

協 議 事 項

1. 小樽商科大学大学院学則の一部改正（案）について

和田学長から，協議資料1に基づき，小樽商科大学大学院学則の一部改正（案）について諮られ，審議の結果，原案どおり承認された。

承認後，和田学長から，本件については，5月13日開催の教育研究評議会に附議した後，5月25日開催の役員会にて審議いただく旨発言があった。

2. 年俸制適用職員の業績評価に関する規程（案）の制定について

和田学長から，協議資料2に基づき，年俸制適用職員の業績評価に関する規程（案）の制定について諮られ，審議の結果，原案どおり承認された。

承認後，和田学長から，本件については，5月25日開催の経営協議会に附議した後，同日開催の役員会にて審議いただく旨発言があった。

報 告 事 項

1. 大学教育再生加速プログラム（AP）について

和田学長から、報告資料1に基づき、大学教育再生加速プログラム（AP）について報告があった。

2. 小樽商科大学第3期中期目標・中期計画（素案）について

和田学長から、報告資料2に基づき、小樽商科大学第3期中期目標・中期計画（素案）について報告があった。

3. 商学部・大学院商学研究科現代商学専攻外部評価結果の公表について

和田学長から、報告資料3に基づき、商学部・大学院商学研究科現代商学専攻外部評価結果の公表について報告があった。

4. 平成26年度2月期内部監査報告について

和田学長から、平成26年度2月期内部監査報告について報告があった。

【報告内容】

本件は、去る3月11日に花輪経営監査室長から学長に報告があり、既に3月31日付けで全教職員に対しメールで配信し、4月15日に開催された学部・大学院合同教授会においても報告しているものである。

平成26年度の2月期の内部監査は、「個人情報管理状況について」・「法人文書の管理状況について」・「ハラスメント相談室及び学生何でも相談室の監査のフォローアップ」・「学内のリスクマネジメントの実態について」・「各教員の担当科目の開講回数等の状況」の五つの監査が行われた。

本報告書の評価は適正とされており、概ね良好と判断しているが、その中で、重要な意見が付されているので、本役員会においても報告する。

1点目は「学内のリスクマネジメントの実態について」であり、平成26年度は十分なリスク対策が実施されなかったものがあり、ひとたび事故等が発生した場合は、人命の問題はもとより、大学としての損失も甚大となることから、今後のさらなる適正な対応が必要と考えている。

2点目は「各教員の担当科目の開講回数等の状況」であり、必要回数を開催している科目がある一方で、休講の代替として補講日が用意されているにもかかわらず、補講を実施していない科目が散見された。

また、研究指導など、補講の実態があるにもかかわらず、教務課に連絡がないため、記録上は開講回数が不足している科目が多く散見された。

中には、6回もの休講を行い、代替措置を執らずに単位を付与している例があるなど、単位の実質化の観点からは問題であり、開講回数の実態を正確に把握するための仕組みを含め、今後の改善が望まれる、とされている。

科目の開講回数については、今後も調査が行われるものと思うので、引き続き注視していきたい。

5. 平成27年度学長政策経費（学長政策分）の事業決定について

和田学長から、報告資料5に基づき、平成27年度学長政策経費（学長政策分）の事業決定について報告があった。

6. 感謝状の贈呈について

和田学長から、感謝状の贈呈について報告があった。

【報告内容】

公益財団法人小樽商科大学後援会理事 小塚邦夫（こづかくにお）氏が本年3月24日に逝去された。

故人は、約13年間にわたり公益社団法人緑丘会の常務理事・事務局長及び公益財団法人小樽商科大学後援会常務理事・事務局長として、本学の教育・研究の発展に対し、多大なる貢献があったことから、感謝状を贈呈するに相応しいと判断し、去る4月25日にご遺族に贈呈した。

【追加】7. 佐野力海外留学奨励金の創設について

和田学長から、佐野力海外留学奨励金の創設について報告があった。

【報告内容】

この度、本学OBである佐野氏（元日本オラクル会長）から、本学学生の留学支援のためという目的で、1年間につき1,500万円、2年分で総額3,000万円のご寄附をいただいた。

本学では、いただいた寄附金を本学グローバル教育推進のために使わせていただくということで寄付者である佐野氏のご了承を得ている。

今後は本寄附金を「佐野力海外留学奨励金」として創設し、「給付実施要項」を作成の上、有効に活用していく予定である。

最後に、和田学長から、次回の役員会については、5月25日（月）経営協議会終了後に開催する予定である旨、発言があった。

引き続き、役員懇談会が行われた。

以 上